

①

### 乱用される薬物の種類

乱用される薬物は“こころ”すなわち精神に影響を与える作用をもっており、中枢神経系を興奮させたりして、使用量によっては、急性中毒症状のために直接死につながる危険もありますが、特に問題となるのは、これらの薬物のうち連用することにより依存性を有するものです。

●シンナー



●覚せい剤



●睡眠薬



●麻薬

(あへん・モルヒネ・ヘロインなど)



●コカイン



●幻覚剤

(LSD・PCPなど)



●大麻(マリファナ)



②

### 覚せい剤、シンナーの人体への影響

シンナー常用が長期になるとからだの内部にもさまざまな障害が起こってきます。特に成長期の青少年には、背が伸びない、筋肉がつかない、体重が激減するなど、発育をさまたげる大きな原因にもなります。

覚せい剤  
シンナー(接着剤) } 等乱用による人体への影響

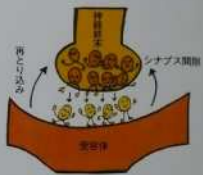


③

### 覚せい剤の神経細胞作用

#### 正常なとき

人間の神経系統は、神経細胞のシナプス間隙に伝達物質が放出され、興奮が次の細胞へと順次伝達されて行きます。これがスムーズに行なわれているのが正常な状態です。放出された伝達物質の一部は神経終末に再び取り込まれます。



#### 覚せい剤が作用した時 (みせかけの元気)

覚せい剤が作用すると、この伝達物質が過剰に放出されると再び取り込みが抑制されるために神経作用の伝達が過剰になり、一時的に気分が爽快になったように感じます。これが「**覚せい剤中毒**」です。



#### 覚せい剤がきれた時

覚せい剤の効果がいけると、逆にシナプス間隙の伝達物質が極端に少なくなり、興奮の伝達がいわゆる「**覚せい剤切れ**」のため、激しい疲労感や憂うつ感におそわれます。これがいわゆる「**覚せい剤切れ**」です。



④

### 覚せい剤乱用の悪循環

覚せい剤の恐しさは、何度もくり返し使用したくなる性質(依存性)を持っているところにあります。しかも使用回数が増えるたびに、それまでと同じ量では効果がうすれる性質(耐性)があります。その結果コントロールができなくなり、恐しい悪循環となるのです。また覚せい剤には幻覚や妄想を引き起こす作用があります。



⑤

### おそろしい再燃現象(フラッシュバック)

薬物の乱用の害は、長い間に続きます。乱用をやめ、治療を行って通常の生活にもどったようでも、何かのストレスが原因で急激に精神障害が起こることがあります。これを再燃現象(フラッシュバック)といいます。というのは、覚せい剤の乱用でひとたび精神障害が生じると、治療によって表面上は回復しているようでも、精神障害の発生する下地が残ってしまうからです。

⑥

### 薬物乱用のきっかけ

薬物乱用は一部の特別な人々の間にだけ存在すると思われていますが、薬物乱用のきっかけはいたるところに存在しています。

⑦

### シンナーくらの甘い考えが死を招く

シンナーを乱用すると、その主成分であるトルエンなどは気体となって肺を通り、すぐに脳に入り込み、そこで強い効果をあらわします。呼吸中枢に作用し、ついには死に到ってしまうこともあります。

⑧

### 青少年を薬物乱用から守るには

現在シンナー吸引から覚せい剤乱用に移行するケースが急増しており、またシンナー乱用に見られる行動の特徴はその他の薬物乱用にもあてはまるものが多くあります。

- ◎子供を孤立させないこと  
薬物の多量使用や精神障害の発症に繋がるのはネット・ソーシャルメディアによる孤立化による。
- ◎過度の放任主義は危険  
本人の行動・交友関係には寄り添い、特に子供の機嫌には厳しい態度で、他の児童による薬物乱用への関与を見過ごさないこと。
- ◎学校との連絡を親密に  
家庭から学校などと連絡を取り合い、進行の遅しがないかを注意する。
- ◎正しい知識をもつ  
保護者は薬物乱用に正しい知識を子供の疑問にも答えられるように。
- ◎吸入現場を発見しても無理にとりあげない  
無理にとりあげても薬力を減弱するだけ。止めれば、薬物の成分が身体について残ってやめなくても本人に立ち回りの困難をきたす。
- ◎相互の信頼関係を崩さない  
お互い信じ合いの中で、できる範囲でできる仕事をこなさず、本人の自立性は立ち回りを期待し見守ってやる。
- ◎機嫌とりは禁物  
本人を尊重するだけでなく子供の健全な成長への期待を裏切ることにはなりません。

### 薬物乱用防止について、正しい知識を身につけましょう。

#### <乱用される危険のある薬物には、どんなものがあるの？>

乱用される薬物は、私たちの一番大切な脳(中枢神経)を破壊します。  
 乱用される薬物の作用は、脳への影響によって次のように分けられます。

- 興奮作用…脳を刺激して興奮させる。
- 幻覚作用…実際にはないものが見えたり、ない音が聞こえたりする。
- 抑制作用…脳を麻痺させて気分をしずみこませたり眠らせたりする。



**脱法ドラッグとは?**  
 脱法ドラッグとは、法律で規制された薬物の構成をわずかに変え、法の網をすり抜けた麻薬や覚せい剤、大麻等によく似た物質のことです。店舗やインターネット上において、「合法ドラッグ」「合法ハーブ」「お香」「アロマエッセンス」と称して販売されているものもあります。これらは、中枢神経に作用し、呼吸停止、意識消失、興奮、幻覚、意識喪失といった症状が現れるなど、人への影響が甚大であり、場合によっては死亡するという大変恐ろしいものです。

京都市

### 脱法ドラッグは、大変危険です！

**脱法ドラッグとは?**  
 脱法ドラッグは、「合法ドラッグ」「合法ハーブ」と称して売られている薬物です。これらの薬物は、法律で規制された薬物の成分をわずかに変えて、法の網をすり抜けた麻薬や覚せい剤、大麻等に対処作用をもつ物質です。乱用によって健康被害が発生しており、大変危険です。「合法」と称していますが、法律で認められていない違法なものも含まれています。

**脱法ドラッグと呼ばれるものは?**

脱法ドラッグは、「合法ハーブ」と呼ばれる脱法ドラッグは、大麻に似た作用を持つ化学物質(合成カンナビノイド)を混ぜ込んだものです。とても危険な薬物です。

**どんなふうに見えるの?**

お香、ハーブ、电子烟カートリッジ、芳香剤、バスソルトなどに混ぜて、「ヘッドショップ」を装う磁器や、インターネット、動画販売でも販売されています。

営業店等で見られるお香、インターネットで検索された脱法ドラッグ等を販売するホームページや携帯サイトが危険

**脱法ドラッグ**

- ハーブ系** 抑制作用
- リッド系** 興奮作用
- パウダー系** 興奮作用

脱法ドラッグに含まれている成分は、多岐にわたるので、その影響も様々です。中には、数種類の違法成分が混ざっているものもあります。どのような影響が出るのかわからないものもあり、大変危険です。**絶対に手を出さないでください。**また、脱法ドラッグは覚せい剤などの乱用につながるゲートウェイドラッグ(入門薬)になる恐れがあります。

**脱法ドラッグの被害例**

- 興奮作用…脳を刺激して興奮させる。
- 抑制作用…脳を麻痺させて気分をしずみこませたり眠らせたりする。

京都市